

第52回新婦人の会 夕張支部大会開催！

2020年12月12日(土)9時30分から、夕張市拠点総合施設「りすた」に夕張労働組合総連合議長・筒井勇治さん、日本共産党夕張市委員会委員

長・くまがい桂子さんを迎えて開かれました。

お二方の来賓からは、新型コロナウイルスは、感染拡大の状況にあつて、PCR検査の社会的検査の必要性、命とくらしを守るた

「今年にはコロナ感染拡大により、活動も少しばし休止したが、各班会員同士が協力し合つて今日の日を迎えることができま

つとつとつやり遂げてたくさんの会員参加で元気な大会にしましょう」と呼びかけました。

その後、活動報告と会計報告について提案があり、五つの班の代議員から一年間の活動の苦しみと喜びの具体的な発言を受けた後、議案は採択されました。

2021年、「力を合わせて進もう」と誓い合い、大会を終りました。



くずさんの 夕張歴史散歩(150)

明治維新64朝鮮植民地支配 ④6 関東大震災での朝鮮人殺りく

1923年(大正12)9月1日、午前11時58分、ちようどお昼の時間でした。東京・横浜を中心とした関東地方一円は、突如として大地震(最大震度7)に襲われました。

災が起こり三日三晩燃え続けます。死者・行方不明10万5千人といわれる大惨事となりました。不安と混乱の中で「朝鮮人が井戸に毒を投げ入れた」「放火した」「暴動を起こしてる」とかのデマ・流言が飛び交います。

こうした中で、日本刀や竹やりで武装した自警団が組織されぞくぞくと避難してくる群衆にたいし、辻々に検問を布き朝鮮人とみれば「不逞朝鮮人」として迫害・殺害に及びます。

戒厳令下の蛮行

政府は戒厳令を発し軍隊を派遣しますが、軍隊・警察自体朝鮮人・中国人を虐殺します。

警官はメガホンを手に「朝鮮人襲来」を警告し、「殺しても差し支えなし」と公言する警察署長もおり、治安行政のトップである内務省警保局は「朝鮮人は各地に放火し、不逞の目的を遂行せんと」していると全国に打電しています。*

これら公然とした残虐行為は、3日に戒厳司令部が、明確にデマを否定するまで続けられ、朝鮮人・中国人・間違われ



惨殺された朝鮮人の遺体。本所の隅田川河畔に引き上げられた遺体は手を後ろで縛られていた。

数千人に及ぶと推計されます。
* 加藤直樹 しんぶん赤旗「日韓の歴史をたどる」⑩より
(関東大震災つづく) (『画法日本近代の歴史9』から)



紙智子「国会かける記」
参議院議員
紙智子

困っている人に寄り添う

日本列島に寒波が押し寄せ厳しく冷え込み、コロナ禍で例年のない年末年始です。元旦は衆議院比例予定候補の島山和也さん、伊藤りち子さんと白石区の白石神社前、清田区の厚別神社前での街頭宣伝からスタートしました。

仕事初めの4日は、札幌駅前朝宣伝。新春の諸行事が中止になる中、感染への細心の注意を払いながら、団体訪問を行いました。コロナの影響が大きい観光・旅行業の(株)旅システムでは、国の支援策や経営状況、要望等をお聞きしました。同業者8社で持続化給付金の再給付、雇用調整助成金のコロナ特例の延長・増額等を求めるアピールを発表するといっています。

北海道の種の会の皆さんが、遠方から駆けつけてくださり、昨年の種苗法改正案の論戦と運動、今後の課題について意見交換、今後にかし

す。
北海道難病連センターでは、昨年「保健文化賞」(保健・福祉分野で顕著な実績を残した人に贈られる)を受賞されたお祝いを述べ、増田靖子代表と意見交換しました。「経済は、後から取り戻しても、人の命はもとに戻りません」という言葉が胸に残ります。新婦人、農民連、民医連、道労連等は、困っている人たちに寄り添い、連帯し支えようとする姿に胸が熱くなります。前に向かい打開しようとする姿に胸が熱くなります。いよいよ1月22日に核兵器禁止条約が発効され、核兵器は違法化されます。今年初の「6の日」行動に参加し、日本で署名・批准を実現させようと訴えました。